

2025年 11 月28 日
東京地下鉄株式会社

副都心線東新宿駅構内における転てつ器損傷及び速度超過の要因分析と類似事案防止対策について

2025年7月28日(月)に発生いたしました副都心線東新宿駅構内転てつ器損傷及び速度超過につきまして、外部有識者を交えて再発防止対策の構築を進めておりました。このたび検討結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

ご利用のお客様には、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。当社では、本検討結果に記載した対策を迅速かつ的確に推進し、お客様の安全を第一とした輸送の確保に全力を尽くしてまいります。詳細は別紙の報告書をご覧ください。

以 上

【分析結果の概要】

本事案は、直通事業者との接続駅において、ダイヤ乱れに伴い列車の運行順序が繰り上がって入線してきたことが発端となり、「見落としと誤認」というヒューマンエラーを発生させた事案でした。発生に際しては、その見落としを防ぎ、誤りを正すためのハード及びソフトの両面の不足・不備があり、何度も機会があったにもかかわらず、この誤った思い込みを正すことができず、最終的に転てつ器の損傷と速度超過という重大な事態に至ってしまったものでした。

【本事案に鑑み対策すべき点及び対策】

- ・「直通事業者司令所との連携不足」への対応
 - 連絡を確実に受けることができるよう連絡系統複数化等
- ・「指令員の列車情報不一致警報の見落とし及び連携不足」への対応
 - ダイヤ乱れ時に列車情報不一致警報を確認し対応できるよう役割分担明確化、役割をプレートで表示等
- ・「指令員の列車情報不一致警報認識後の運転士との確認及び対応の不足」への対応
 - 列車情報不一致が発生した場合の修正対応を確実に実施できるよう不一致検知時の対応明確化、不一致検知点追加(明治神宮前)、カメラ設置(明治神宮前、新宿三丁目)、確認会話プロジェクト発足等
- ・「自動列車制御装置開放の取扱い及び開放後の指令員の確認不足」への対応
 - 自動列車制御装置の開放を許可する場合に対象となる列車を正しく認識できるよう自動列車制御装置開放時の確認項目等、取扱いの明確化、チェックフロー化及び規程化等
- ・「転てつ器通過速度の誤認」への対応
 - 転てつ器の制限速度を超過して運転することがないように全運転士へ転てつ器通過時の制限速度の再徹底